

4年生の図画工作科では こんな学習に取り組んでいます

広島市立牛田小学校



目標

4年生の図画工作科でつけていきたい力は...

- ・豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに進んで表現する態度を育てるようにします。
- ・材料などから豊かな発想をし手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくり出す能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにします。
- ・自分たちの作品や身近にある作品材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともにそれらに対する感覚を高めるようにします。



方法

子どもたち一人一人が主体的に活動し、つくりだす喜びを味わえるように、子どもたちの実態にあわせて学習します。

「つくりたいものをつくる」「工作に表す」「絵や立体に表す」などの活動をバランスよく取り入れます。

適宜共同してつくりだす活動を入れ、造形体験を深めます。

総合的な学習や他教科の関連を図り、幅広く豊かな学習を進めます。

学習する単元

学習の内容

前期
28時間

1. よくみてかこう(2)
2. キラキラ光る(8)
3. わすれられない日(5)
4. ざいりょう物語(8)
5. ひもで作ろう(3)
6. 絵の具の不思議(2)



身近なものの特徴をつかみ、工夫して描きます。
色セロハンを使って、色の効果を考えながら、作品をつくります。
遊んだこと・見たことを思いうかべ、画面の組み立てや人の動き、色彩の組み合わせなど工夫して表します。
材料の特徴を生かしながら、形の組み合わせや機能を工夫して作ります。
柔らかい材料の特徴を味わい、材料の良さを生かしながら、工夫して形を作ります。
線の形や色、線と線の重なりから思いついたことを自由に表します。

後期
32時間

7. お話の世界(8)
8. ハッピーカード(4)
9. 木から生まれた世界(8)
10. 教科書美術館(1)
11. コロコロコロガロード(7)
12. ワンダーランドへようこそ(4)



物語の中で絵に表したい場面を見つけて、場面の感じが良く出るように工夫して絵に表します。
開くと飛び出すカードの仕組みを理解し、動きの特徴を生かしたお知らせカードを作ります。
表したいことを彫刻刀を使って、彫り方などを工夫して表し、印刷します。
いろいろな美術作品や友だちの作品を鑑賞します。
迷路状の遊ぶものを工夫し、カッターナイフを使って楽しみながら作ります。
集めた材料や選んだ場所を効果的に生かし楽しんで活動します。



評価

- 「造形への意欲や態度」 図画工作の授業の中での進んで造形活動に取り組む様子やていねいさ、また、最後までがんばっている様子などから総合的に評価します。
- 「発想や構想の能力」 材料や方法を生かして自分の思いを工夫して表そうとしているか、授業の中での様子や仕上がった作品などから総合的に評価します。
- 「創造的な技能」 材料の感じを生かしたり、色や画面を効果的に表したりしているか、仕上がった作品から総合的に評価します。
- 「鑑賞」 発想の良さや工夫していることなど、一口感想や友達との話し合いの中から総合的に評価します。